

始業式のあいさつ

こんにちは。この4月から校長になりました富田です。

今年は、30人が新たに入学しました。また、2年や3年生への転入生や編入生もいます。こうして新しい仲間が増えて、この定時制の明かりがこれからも続くことになります。とても嬉しいことです。この学校の歴史は50年以上ですから、みなさんの親の世代の時から、ここで学んで卒業して、社会で活躍しているのです。すごいことだと思います。皆さんもそれに続けてくれることと思っています。

「繋ぐ」という言葉があります。とても大切な言葉です。野球でも良い攻撃をするためには、ヒットをつなぐ、次のバッターに繋ぐと言います。サッカーでもパスを繋ぐとか言います。私たちも、この成城高校の定時制の伝統を「繋ぐ」一員なのです。こうしてここに集まっている皆で、成城高校の定時制を未来に繋いで行って欲しいと思います。そのことが、皆さんの有意義な未来に繋がることになると考えています。

そのためには、凡事徹底という難しい言葉もありますが、当たり前のことを、当たり前に行える、高校生でいてほしいと思います。

あたり前にすべきことの3つをお話しします。まず、「時を守る」です。今日、ここにいる皆さんは時間に間に合うように登校してくれました。昼に働いている人なら当然のことと分かっていることでしょう。時間を守ることはとても大切なことです。明日からも遅刻しないで登校しましょう。

次に、学校を居心地よくするためには、「場を清める」ことが大切です。自分の周り、みんなの周りでもあります。きれいにすることまでできなくても、ゴミを出さないことくらいはしてほしいです。

そして、今日、何人かの生徒が私に体育館に入る前に、あいさつをしてくれました。とても嬉しかったです。「礼を正す」と言います。これからも、皆であいさつを普通にできるようにしましょう。私は、明日から、校門で生徒会の諸君と一緒にあいさつをしたいと思います。人間関係をつくる一歩が「あいさつです」。この三つのことを大切にしましょう。

定時制での勉強や生活は大変だろうと思います。自分一人の力で頑張っていける人ばかりではないでしょう。繋ぐために、仲間同士で支え、励ましあってほしいと思います。ここに集まっている生徒は、皆、仲間なのです。そして、先生方は、みなさんが学校生活を繋ぐことが出来るようにするための味方です。勉強や運動など、少し自分に厳しく頑張りたいと思います。時には先生の言葉が疎ましく話が聞こえる時もあるでしょうが、ちょっと辛抱して頑張りたいと思います。そして、当たり前のことをできるようになって欲しいと思います。きっと、皆さんならできるはずですよ。期待しています。

また、夏にお話しができると思います。学校生活の毎日を繋いでいってください。